

# 公益財団法人ロッセ財団 2023 年度事業報告

## I 事業の状況

### 〔1〕奨学事業

#### 1. 応募状況および選考結果

##### (1) 奨学生の選考、決定

###### ① 一般奨学生

秋採用（9月末助成終了者補充）に関し、2023年8月30日対面による選考委員会を開催。推薦を依頼した6校からの奨学生候補者5名について選考審査を行い、3名を選定し理事長が採用を決定した。

春採用（3月末助成終了者補充）に関しては、2024年1月31日対面による選考委員会を開催。推薦を依頼した20校からの奨学生候補者28名について選考審査を行い、22名を選定し理事長が採用を決定した。

###### ② 渡日前採用奨学生

中国採用に関し、高校3校へ推薦を依頼、1校から2名推薦があった。奨学生候補者2名について、2023年8月30日対面による選考委員会を開催。2名を選定し理事長が採用を決定した。

韓国採用に関し、高校5校に推薦を依頼するも、希望該当者はおらず推薦を辞退、選考には至らなかった。

①②にて決定した合計27名の奨学生については、推薦のあった大学・高校に通知した。

##### (2) 2023 年度奨学生（期末人数）

2023年度の奨学生は一般、渡日前採用奨学生を合わせて合計63名で、その内訳は、一般奨学生49名、渡日前採用奨学生14名である。

##### (3) 奨学金の支給

本年継続の奨学生43名および新規奨学生18名に対し、月額18万円の奨学金を2023年4月～2024年3月まで12ヶ月間支給、但し学生2名がオーストラリアへ留学したため、規程により各々8ヶ月間支給を停止した。

また、中国からの新規渡日前採用奨学生2名については、2023年10月からの滞在費月額18万円及び、渡航支度金、大学入学金等の援助金として108万円を支給した。

## 2. 奨学援助費（合計） 133,200,000 円

### < 奨学生動態表 >

	一般奨学生	渡日前奨学生	合計
2022 年度継続者	31	12	43
2023 年度春新規奨学生	18	0	18
2023 年 4 月在籍者 計	49	12	61
2022 年 9 月終了者	▲3	0	▲3
* 秋季採用者（9 月）	3	（中国） 2	5
2024 年 3 月末在籍者 計	49	14	63
2024 年 3 月末終了者	▲20	▲3	▲23
春季採用（2 月）	22		22
2024 年 4 月在籍者 計	51	11	62

\* 渡日前奨学生は 3 月末在籍者に算入

## 3. 学業および生活状況調査

2023 年 9 月までに、継続奨学生に成績証明書を提出させ学習状況を確認した。

また、4 月、10 月に奨学生全員と個別に面談し、勉学の状況、成果の現況および生活状況の報告を受けた。面談により配慮が必要と思われる奨学生を抽出、財団内で共有し、大学とも連携し適切な対応を図った。

## 4. 交流活動事業等

### (1) 奨学生交流会

- ①2023 年 6 月奨学金贈呈式を対面で開催し、44 名が参加した。  
（前日からの荒天で交通機関に乱れがあり、11 名が欠席となった）
- ②2023 年 8 月研修旅行を実施、日光・鬼怒川方面を訪問 48 名が参加した。
- ③2023 年 11 月奨学生研究発表交流会をオンラインにて実施し 58 名が参加した。
- ④2024 年 3 月奨学生卒業式・交流会を対面で開催し、55 名が参加した。

### (2) 日本文化研究交流会

- ①2023 年 12 月和菓子作りを体験 34 名が参加した
- ②2024 年 3 月オンラインで俳句の会を開催、奨学生 16 名参加した。

### (3) 奨学生交流会（OB・OG 交流会）

- ・2023 年 12 月奨学生 OB・OG 交流会を実施、現役 39 名 OB・OG 50 名が参加した。

### (4) 奨学生交流誌の発行

奨学生間、奨学生と財団の交流に資するため、2023 年 5 月交流誌を発行した。

## 〔2〕研究助成事業

### 1. 研究者育成助成及び奨励研究助成

#### (1) 主要日程

- ①2023年 4月1日 2024年度募集開始
- ②2023年 5月26日 「奨励研究助成」受付締切り
- ③2023年 6月23日 「研究者育成助成〈ロッテ重光学術賞〉」受付締切り
- ④2023年 7月29日 若手研究者の集い（学士会館）
- ⑤2023年 8月24日 第1回選考委員会（書類審査）（ハイブリット開催）
- ⑥2023年 9月20日 第2回選考委員会（面接審査）（対面審査）
- ⑦2023年 10月2日 助成採択者理事会承認（書面決議）
- ⑧2023年 12月14日 第11回贈呈式

#### (2) 応募状況

項目	研究者育成助成 〈ロッテ重光学術賞〉	奨励研究助成	合計
大学	国公立大学 9件 私立大学 3件 計 12件	国公立大学 141件 私立大学 45件 計 186件	198件
その他 研究機関	(ニューヨーク大学) 1件	8件	9件
計	13件	194件	207件

#### (3) 採択者一覧 資料A参照（別添）

(4) 研究助成金（合計） 171,370,000円

#### (5) 選考概要

今年度「奨励研究助成」については、研究分野別に、【1】自然科学基礎研究、【2】自然科学応用・実装研究、【3】人文/社会科学研究に区分し、対象年齢も45歳に引上げ募集、助成金は従来と同様最大300万円とした。尚、これまで「奨励研究助成B」として100万円の助成を行なっていたが、廃止した。

##### ①選考方法

従来通り「食と健康」に関連した幅広い分野からの申請があり、当助成事業の選考委員6名全員で申請書全件の書面審査を行い、選考委員会にて活発な議論を交わしたうえ、最終候補者を決定した。なお、「研究者育成助成〈ロッテ重光学術賞〉」においては、まず書面審査で3名を選考し、後日、面接審査を実施した。

## ②観点

「研究者育成助成〈ロッセ重光学術賞〉」については、申請者が将来自身の研究分野を切り拓き、同時に切り拓いた研究分野を先導し、社会のために広く貢献していける能力を有する研究者かどうか、さらに、「食と健康」の分野でどのように将来を展望しようとしているのかに主眼をおいて審査を行った。

「奨励研究助成」は、将来、国際的に活躍する可能性を秘めた、優秀で志の高い若手研究者を対象としており、自然科学から人文・社会科学までの広域にわたる「食と健康」の分野において、研究上の独創性、チャレンジ性、萌芽性および将来性について審査を行った。

また、【2】自然科学応用・実装研究に関しては、旧助成者からの応募も多数見られ、社会実装への可能性、研究の進捗なども含めて審査した。

## ③選考結果

2023年8月24日の第1回選考委員会にて、【1】自然科学基礎研究の助成対象候補者26名、【2】自然科学応用・実装研究の助成対象候補者7名、【3】人文/社会科学研究の助成対象候補者8名および「研究者育成助成」の面接候補者3名を選出、続いて9月20日の第2回選考委員会にて、「研究者育成助成」の助成対象候補者1名を面接審査にて選出した。

その後、10月2日の理事会において正式に採択を決定した。

## (6)その他

- ・第8回研究者育成助成対象者の戸田安香氏が、科学技術振興機構「第4回輝く女性研究者賞」を受賞、更にAsian Scientist Magazineの2023年度版「アジアの科学者100人」に選ばれた。

## 2. 論文助成

### (1) 申請受付及び承認

- ・上期受付（2023年2月～8月）

9名より9論文2.8百万円の助成申請があり、選考委員長の審査を経て第57回理事会にて助成を承認した。

- ・下期受付（2023年9月～2024年1月）

8名より9論文2.3百万円の助成申請があり、選考委員長の審査を経て第58回理事会にて助成を承認した。

# 第11回(2024年度) 助成対象者

※所属機関・職位は2023年12月現在のものです。(五十音順・敬称略)

## 研究者育成助成〈ロッセ重光学術賞〉

### ●新規助成者

	氏名	所属機関・職位	研究課題	受入機関	育成支援教員
1	内田 紀之	東京農工大学工学部有機材料化学科 特任助教	食品の安全衛生管理に向けたウイルス・細菌を無毒化する膜変形リポソームの開発	東京農工大学工学研究院	教授 村岡 貴博

### ●継続助成者

	氏名	所属機関・職位	研究課題	受入機関	育成支援教員
1	山口 裕嗣	名古屋大学環境医学研究所 特任助教	絶食や食品成分により誘導される冬眠様低代謝状態の神経基盤の解明	名古屋大学環境医学研究所	教授 竹本 さやか
2	戸田 安香	明治大学農学部農芸化学科食品機能化学研究室 特任講師	甘味・旨味受容体T1Rsの進化と食性の多様化の関わり解明	明治大学農学部農芸化学科食品機能化学研究室	教授 石丸 喜朗
3	宮内 英里	筑波大学システム情報系知能機能工学域 助教	脳波リズムの制御による食体験の向上技術の開発：心身の健康を目指して	筑波大学システム情報系知能機能工学域	准教授 川崎 真弘

## 奨励研究助成【1】 ●自然科学基礎研究

	氏名	所属機関・職位	研究課題
1	秋山 雅博	慶應義塾大学薬学部創薬研究センター 特任講師	環境刺激を利用した新規機能性を有するプロバイオティクスの探索
2	石川 理絵	東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻 助教	必須アミノ酸ヒスチジンによる記憶能力向上効果のメカニズムの解析
3	上阪 直史	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 教授	咀嚼機能低下が脳機能に及ぼす影響とそのメカニズムの解明
4	海野 良輔	東京農業大学応用生物科学部醸造科学科 助教	ウォッシュチーズ保管時の細菌叢と品質の変化の関連
5	應本 真	高崎健康福祉大学健康福祉学部健康栄養学科 准教授	苦味受容細胞の分化制御機構の解明
6	川口 耕一郎	京都工芸繊維大学応用生物学系 講師	食品成分由来セノリティック分子の作用機序解明による抗老化戦略の分子基盤構築
7	木下 かほり	国立長寿医療研究センター研究所老年学・社会科学研究センターフレイル研究部 研究員	朝食の質と体内老化：時間栄養学的観点からみたフレイル予防のための疫学研究
8	重安 邦俊	岡山大学病院消化管外科 助教	食習慣の改善によるRNA編集抑制を介した遺伝性大腸癌の発癌予防
9	竹内 雄一	北海道大学大学院薬学研究院 准教授	非侵襲的脳深部刺激法による食の喜び回復法
10	田中 若奈	広島大学大学院統合生命科学研究科食品生命科学プログラム 准教授	冷害に強いイネづくりに向けた有用発生制御因子の発掘
11	長尾 博文	大阪大学大学院医学系研究科 代謝血管学寄附講座 特任研究員	各組織由来エクソソームによる肥満・老化病態制御および新規アディポネクチンシグナル
12	永島 鮎美	東京工業大学生命理工学院 助教	母子間栄養輸送機構の理解を目指したアクアグリセロポリリン基質選択メカニズムの解明
13	長島 一樹	北海道大学電子科学研究所 教授	匂いセンシングの網羅的データマイニングに基づく食後ヘルスマニタリング技術の開発

●自然科学基礎研究

	氏名	所属機関・職位	研究課題
14	なかむら 中村 優子	東京大学大学院総合文化研究科進化認知科学研究センター 准教授	糖質と脂質の混合食が感覚-栄養学習を介した嗜好形成に与える影響
15	にった 新田 陽子	お茶の水女子大学基幹研究院自然科学系 准教授	食用キノコ廃棄部由来ゲル化成分を用いた新規食感改良剤の開発
16	はとり 羽鳥 恵	名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 特任准教授	食による生物時計の調節から健康を改善する分子機序の解明
17	ひとら 人羅 勇氣	熊本大学大学院生命科学研究部附属グローバル天然物科学研究センター 准教授	AI天然物創薬技術を活用した骨粗鬆症予防作用を有する植物成分の探索
18	べん 彭 戈	順天堂大学大学院医学研究科アトピー疾患研究センター 日本学術振興会外国人特別研究員	ブロッコリー由来スルフォラファン腸内細菌叢変化によるアトピー性皮膚炎の改善効果
19	あうら 三浦 征	福岡大学スポーツ科学部 助教	筋損傷の抑制と筋適応の増強を両立する新規スポーツ栄養戦略の基盤構築
20	あしま 三島 英換	東北大学大学院医学系研究科腎膠原病内分泌内科学分野 非常勤講師	食事成分ビタミンKのフェロトーン抑制作用に基づく疾病の予防
21	もり 森 貴裕	東京大学大学院薬学系研究科 准教授	天然酵素を用いた高機能抗酸化物質の創出
22	やすこうち 安河内 友世	九州大学大学院歯学研究院OBT研究センター 准教授	胎内栄養が規定する肥満素因の最上流エピゲノム～動物実験とヒト疫学研究による解明～
23	やまがた 山方 恒宏	秋田大学大学院理工学研究科生命科学専攻 准教授	シヨ糖忌避記憶の形成因となる飽食シグナル作用機序の解明
24	やました 山下 寛人	静岡大学学術院農学領域 助教	作物栽培-生態系のアグリオミクス解析から探る日本茶生産の持続可能性
25	やまもと 山本 将大	九州大学生体防御医学研究所 助教	脂質栄養学的アプローチによる難治性疼痛の新しい治療・予防戦略
26	りく 陸 颯	東京大学大学院農学生命科学研究科応用生命化学専攻食品生物構造学研究室 助教	柑橘果皮フラボノイドによる長寿遺伝子産物SIRT1活性調節及び抗老化機能の研究

奨励研究助成[2] ●自然科学応用・実装研究

	氏名	所属機関・職位	研究課題
1	えだひろ 枝広 あや子	東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム 歯科医師/研究員	読経を用いた心理的健康及び口腔咽喉頭機能への健康増進プログラム開発と実装
2	おぼら 小原 拓	東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 予防医学・疫学部門 准教授	児の疾患発症に関連する妊婦の食事パターンの解明と食事調査・介入アプリの社会実装
3	すなの 砂野 唯	新潟大学人文社会科学系創生学部 助教	アフリカ飢餓地帯において栄養源となる酒の解明と活用
4	とやま 外山 直樹	岡山大学学術研究院医歯薬学域予防歯科学分野 助教	食物繊維摂取による睡眠時プラキシズムへの介入効果の検討
5	にしぎの 西園 啓文	金沢医科大学総合医学研究所共同利用センター 講師	特定波長光によるウシ精子活性化法の開発と肉用牛生産現場への応用
6	はやかわ 早川 晃司	岡山理科大学獣医学部獣医学科 准教授	エピゲノム調節栄養素を用いて妊娠糖尿病下における胎盤機能不全を克服する
7	ふくだに 福谷 充輝	立命館大学スポーツ健康科学部 講師	細胞レベルでの、乳酸を“エネルギー源”として積極的に摂取することの是非解明

### 奨励研究助成【3】 ●人文/社会科学研究

	氏名	所属機関・職位	研究課題
1	さかい ゆうたろう 阪井 裕太郎	東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授	環境に優しい食品はどうしたら選ばれるか ーリアル選択実験とアイトラッカーによる接近
2	たけだ こうへい 武田 浩平	大阪大学社会技術共創研究センター 特任助教	代替タンパク質をめぐるイメージ像と社会受容の相互作用の解明
3	たけだ じゅん 武田 淳	静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科 准教授	コーヒー2050年問題と生産者たちの応答 ー「食べるコーヒー」を巡る文化的研究
4	はた ゆき 畑 有紀	新潟大学日本酒学センター 特任助教	近世日本における食養生法としての薬酒の研究 ー「豆淋酒」を中心にー
5	ひらもと たけし 平本 毅	京都府立大学文学部 准教授	京料理店の価値共創メカニズムに関する経験的研究： 料亭とカウンター割烹の比較から
6	ままだ みちひこ 間々田 理彦	愛媛大学大学院農学研究科食料生産学専攻 准教授	情報通信技術の高度化と視覚障害者の食のQOLの 関係性に関する研究
7	よしだ まりこ 吉田 真理子	広島大学大学院人間社会科学研究科国際平和共生 プログラム 助教	牡蠣と人の共生をめぐる不確実性の環境人類学
8	ヨトヴァ マリア	立命館大学食マネジメント学部 准教授	日本とブルガリアにおける「ご当地ヨーグルト」をめぐる 比較研究

●研究者育成助成（ロッセ重光学術賞）助成金合計 60百万円

●奨励研究助成 助成金合計 113.2百万円

●論文助成 助成金合計 5.1百万円

●前年度研究返金分（残余金） 合計 ▲6.9百万円

合 計 171.4百万円

## II 処務の概要

### 1. 会議等に関する事項

#### (1) 理事会

開催年月日	付議事項	会議の結果
2023年5月19日 第55回	<ol style="list-style-type: none"> <li>「2022年度事業報告および計算書類等承認」の件</li> <li>「内閣府への事業報告等に係る提出書類承認」の件</li> <li>「評議員会招集承認」の件</li> <li>「評議員選任に関する議案概要承認」の件</li> <li>「奨学事業選考委員選任承認」の件</li> </ol>	<p>全員一致で承認・可決</p> <p>全員一致で承認・可決</p> <p>全員一致で承認・可決</p> <p>全員一致で承認・可決</p> <p>全員一致で承認・可決</p>
2023年6月3日 第56回	<ol style="list-style-type: none"> <li>「議決権行使に関する承認」の件</li> </ol>	<p>全員一致で承認・可決</p>
2023年10月2日 第57回	<ol style="list-style-type: none"> <li>「2024年度研究者育成助成〈ロッテ重光学術賞〉助成対象者承認」の件</li> <li>「2024年度奨励研究助成 助成対象者承認」の件</li> <li>「2023年度上半期研究論文作成・掲載・発表経費助成対象者承認」の件</li> </ol>	<p>全員一致で承認・可決</p> <p>全員一致で承認・可決</p> <p>全員一致で承認・可決</p>
2024年3月2日 第58回	<ol style="list-style-type: none"> <li>「2024年度事業計画・積立金取崩し・収支予算・資金調達および設備投資の見込みを記載した書類承認」の件</li> <li>「2023年度特定資産取崩し承認」の件</li> <li>「2023年度下半期研究論文作成・掲載・発表経費助成の対象者承認」の件</li> </ol>	<p>全員一致で承認・可決</p> <p>全員一致で承認・可決</p> <p>全員一致で承認・可決</p>

## (2) 評議員会

開催年月日	付議事項	会議の結果
2023年6月3日 第12回定時	1. 「評議員会議長互選」の件 2. 「議事録署名人選出」の件 3. 「2022年度計算書類承認」の件 4. 「評議員改選承認」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決

## (3) 選考委員会

## ①奨学事業

開催年月日	付議事項	会議の結果
2023年8月30日 第1回	1. 「議事録署名人選出」の件 2. 「2023年度一般奨学生(秋採用)候補者決定」の件 3. 「2023年度中国渡日前採用奨学生候補者決定」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決
2023年11月11日 第2回	1. 「議事録署名人選出」の件 2. 「奨学金支給期間延長奨学生候補者決定」の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決
2024年1月31日 第3回	1. 「議事録署名人選出」の件 2. 「2024年度一般奨学生(春採用)候補者決定」の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決

## ②研究助成事業

開催年月日	付議事項	会議の結果
2023年8月24日 第1回	1. 「2024年度奨励研究助成【3】助成対象候補者決定」の件 2. 「2024年度奨励研究助成【2】助成対象候補者決定」の件 3. 「2024年度奨励研究助成【1】助成対象候補者決定」の件 4. 「2024年度研究者育成助成 面接候補者決定」の件	全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決 全員一致で承認・可決
2023年9月20日 第2回	1. 「2024年度研究者育成助成対象候補者決定」の件	全員一致で承認・可決

## 事業報告に係る附属明細書

記載する事項無し

以上